

Q001

TRAVEL-1211

海外旅行の旅程作成 / 4択 / 基礎

海外旅行の旅程作成に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 入国手続は旅程に影響しない。
2. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
3. 時差は考慮しなくてよい。
4. 乗継時間は5分でも十分である。

答え・解説

正答：2. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

解説：海外旅行の旅程作成では「時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。」が基本です。

要点：海外旅行の旅程作成

Q002

TRAVEL-1212

現地連絡先 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地連絡先で正しい理解はどれか。

1. 緊急連絡先は旅行者に知らせない。
2. 現地連絡先は旅行後に調べればよい。
3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
4. ホテル名だけ分かれば十分である。

答え・解説

正答：3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

解説：現地連絡先では「現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。」が基本です。

要点：現地連絡先

Q003

TRAVEL-1213

海外ホテル予約 / 4択 / 標準

海外ホテル予約に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 食事条件は確認不要である。
2. 宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。
3. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
4. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。

答え・解説

正答：1. 食事条件は確認不要である。

解説：誤りは「食事条件は確認不要である。」。海外ホテル予約では「宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。」が基本です。

要点：海外ホテル予約

Q004

TRAVEL-1214

現地交通手配 / 4択 / 応用

次の事例で、現地交通手配の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。
2. 現地交通は旅券発給機関が手配する。
3. 集合場所は当日まで知らせない。
4. 利用条件は予約後も確認不要である。

答え・解説

正答：1. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。

解説：現地交通手配では「空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。」が基本です。

要点：現地交通手配

Q005

TRAVEL-1215

外貨と支払 / 4択 / 基礎

外貨と支払に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 外貨は税関で没収されるため持てない。
2. クレジットカードは旅券の代わりになる。
3. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
4. どの国でも日本円だけで必ず支払える。

答え・解説

正答：3. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。

解説：外貨と支払では「現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。」が基本です。

要点：外貨と支払

Q006

TRAVEL-1216

チップ習慣 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、チップ習慣で正しい理解はどれか。

1. チップは旅行業登録料の一部である。
2. チップは世界中で法律上禁止されている。
3. チップは航空券の税金である。
4. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

答え・解説

正答：4. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

解説：チップ習慣では「国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。」が基本です。

要点：チップ習慣

Q007

TRAVEL-1217

海外での通信 / 4択 / 標準

海外での通信に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。
2. 通信手段は現地で必ず無料提供される。
3. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
4. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

答え・解説

正答：2. 通信手段は現地で必ず無料提供される。

解説：誤りは「通信手段は現地で必ず無料提供される。」。海外での通信では「ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。」が基本です。

要点：海外での通信

Q008

TRAVEL-1218

現地安全対策 / 4択 / 応用

次の事例で、現地安全対策の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 感染症情報は旅程作成に関係しない。
2. 治安情報は旅行者に伝えてはならない。
3. 海外では交通ルールを確認する必要がある。
4. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。

答え・解説

正答：4. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。

解説：現地安全対策では「治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。」が基本です。

要点：現地安全対策

Q009

TRAVEL-1219

海外ツアーの集合時刻 / 4択 / 基礎

海外ツアーの集合時刻に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
2. 集合時刻は旅行者がバラバラに決める。
3. 出発5分前集合が常に適切である。
4. 保安検査時間は考えなくてよい。

答え・解説

正答：1. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

解説：海外ツアーの集合時刻では「国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。」が基本です。

要点：海外ツアーの集合時刻

Q010

TRAVEL-1220

現地ガイド / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地ガイドで正しい理解はどれか。

1. ガイドは旅券を発給できる。
2. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
3. ガイドの言語は確認不要である。
4. ガイドのサービス範囲は無制限である。

答え・解説

正答：2. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

解説：現地ガイドでは「ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。」が基本です。

要点：現地ガイド

Q011

TRAVEL-1221

海外旅行の書面確認 / 4択 / 標準

海外旅行の書面確認に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
2. 書面は旅行者に渡さない。
3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
4. 旅程表、航空券控え、ホテルバウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。

答え・解説

正答：2. 書面は旅行者に渡さない。

解説：誤りは「書面は旅行者に渡さない。」。海外旅行の書面確認では「旅程表、航空券控え、ホテルバウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。」が基本です。

要点：海外旅行の書面確認

Q012

TRAVEL-1222

時差計算 / 4択 / 応用

次の事例で、時差計算の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。
2. 世界中の時刻は日本と同じである。
3. 日付変更線は国内旅行だけに関係する。
4. 航空券の時刻は常に日本時間で表示される。

答え・解説

正答：1. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。

解説：時差計算では「出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。」が基本です。

要点：時差計算

Q013

TRAVEL-1223

海外旅行の旅程作成 / 4択 / 基礎

海外旅行の旅程作成に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 時差は考慮しなくてよい。
2. 入国手続は旅程に影響しない。
3. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
4. 乗継時間は5分でも十分である。

答え・解説

正答：3. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

解説：海外旅行の旅程作成では「時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。」が基本です。

要点：海外旅行の旅程作成

Q014

TRAVEL-1224

現地連絡先 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地連絡先で正しい理解はどれか。

1. ホテル名だけ分かれば十分である。
2. 現地連絡先は旅行後に調べればよい。
3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
4. 緊急連絡先は旅行者に知らせない。

答え・解説

正答：3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

解説：現地連絡先では「現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。」が基本です。

要点：現地連絡先

Q015

TRAVEL-1225

海外ホテル予約 / 4択 / 標準

海外ホテル予約に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 食事条件は確認不要である。
2. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
3. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
4. 宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。

答え・解説

正答：1. 食事条件は確認不要である。

解説：誤りは「食事条件は確認不要である。」。海外ホテル予約では「宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。」が基本です。

要点：海外ホテル予約

Q016

TRAVEL-1226

現地交通手配 / 4択 / 応用

次の事例で、現地交通手配の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。
2. 現地交通は旅券発給機関が手配する。
3. 利用条件は予約後も確認不要である。
4. 集合場所は当日まで知らせない。

答え・解説

正答：1. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。

解説：現地交通手配では「空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。」が基本です。

要点：現地交通手配

Q017

TRAVEL-1227

外貨と支払 / 4択 / 基礎

外貨と支払に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. クレジットカードは旅券の代わりになる。
2. どの国でも日本円だけで必ず支払える。
3. 外貨は税関で没収されるため持てない。
4. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。

答え・解説

正答：4. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。

解説：外貨と支払では「現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。」が基本です。

要点：外貨と支払

Q018

TRAVEL-1228

チップ習慣 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、チップ習慣で正しい理解はどれか。

1. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
2. チップは旅行業登録料の一部である。
3. チップは航空券の税金である。
4. チップは世界中で法律上禁止されている。

答え・解説

正答：1. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

解説：チップ習慣では「国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。」が基本です。

要点：チップ習慣

Q019

TRAVEL-1229

海外での通信 / 4択 / 標準

海外での通信に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 通信手段は現地で必ず無料提供される。
2. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
3. ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。
4. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

答え・解説

正答：1. 通信手段は現地で必ず無料提供される。

解説：誤りは「通信手段は現地で必ず無料提供される。」。海外での通信では「ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。」が基本です。

要点：海外での通信

Q020

TRAVEL-1230

現地安全対策 / 4択 / 応用

次の事例で、現地安全対策の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。
2. 治安情報は旅行者に伝えてはならない。
3. 感染症情報は旅程作成に関係しない。
4. 海外では交通ルールを確認する必要がない。

答え・解説

正答：1. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。

解説：現地安全対策では「治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。」が基本です。

要点：現地安全対策

Q021

TRAVEL-1231

海外ツアーの集合時刻 / 4択 / 基礎

海外ツアーの集合時刻に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 保安検査時間は考えなくてよい。
2. 出発5分前集合が常に適切である。
3. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
4. 集合時刻は旅行者がバラバラに決める。

答え・解説

正答：3. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

解説：海外ツアーの集合時刻では「国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。」が基本です。

要点：海外ツアーの集合時刻

Q022

TRAVEL-1232

現地ガイド / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地ガイドで正しい理解はどれか。

1. ガイドの言語は確認不要である。
2. ガイドのサービス範囲は無制限である。
3. ガイドは旅券を発給できる。
4. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

答え・解説

正答：4. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

解説：現地ガイドでは「ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。」が基本です。

要点：現地ガイド

Q023

TRAVEL-1233

海外旅行の書面確認 / 4択 / 標準

海外旅行の書面確認に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。
2. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
3. 書面は旅行者に渡さない。
4. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

答え・解説

正答：3. 書面は旅行者に渡さない。

解説：誤りは「書面は旅行者に渡さない。」。海外旅行の書面確認では「旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。」が基本です。

要点：海外旅行の書面確認

Q024

TRAVEL-1234

時差計算 / 4択 / 応用

次の事例で、時差計算の観点から最も適切な対応はどれか。（確認2）

1. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。
2. 世界中の時刻は日本と同じである。
3. 日付変更線は国内旅行だけに関係する。
4. 航空券の時刻は常に日本時間で表示される。

答え・解説

正答：1. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。

解説：時差計算では「出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。」が基本です。

要点：時差計算

Q025

TRAVEL-1235

海外旅行の旅程作成 / 4択 / 基礎

海外旅行の旅程作成に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 時差は考慮しなくてよい。
2. 乗継時間は5分でも十分である。
3. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
4. 入国手続は旅程に影響しない。

答え・解説

正答：3. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

解説：海外旅行の旅程作成では「時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。」が基本です。

要点：海外旅行の旅程作成

Q026

TRAVEL-1236

現地連絡先 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地連絡先で正しい理解はどれか。

1. 緊急連絡先は旅行者に知らせない。
2. ホテル名だけ分かれば十分である。
3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
4. 現地連絡先は旅行後に調べればよい。

答え・解説

正答：3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
解説：現地連絡先では「現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。」が基本です。

要点：現地連絡先

Q027

TRAVEL-1237

海外ホテル予約 / 4択 / 標準

海外ホテル予約に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 食事条件は確認不要である。
2. 宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。
3. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
4. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

答え・解説

正答：1. 食事条件は確認不要である。

解説：誤りは「食事条件は確認不要である。」。海外ホテル予約では「宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。」が基本です。

要点：海外ホテル予約

Q028

TRAVEL-1238

現地交通手配 / 4択 / 応用

次の事例で、現地交通手配の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 利用条件は予約後も確認不要である。
2. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。
3. 現地交通は旅券発給機関が手配する。
4. 集合場所は当日まで知らせない。

答え・解説

正答：2. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。

解説：現地交通手配では「空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。」が基本です。

要点：現地交通手配

Q029

TRAVEL-1239

外貨と支払 / 4択 / 基礎

外貨と支払に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 外貨は税関で没収されるため持てない。
2. クレジットカードは旅券の代わりになる。
3. どの国でも日本円だけで必ず支払える。
4. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。

答え・解説

正答：4. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。

解説：外貨と支払では「現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。」が基本です。

要点：外貨と支払

Q030

TRAVEL-1240

チップ習慣 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、チップ習慣で正しい理解はどれか。

1. チップは航空券の税金である。
2. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
3. チップは旅行業登録料の一部である。
4. チップは世界中で法律上禁止されている。

答え・解説

正答：2. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

解説：チップ習慣では「国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。」が基本です。

要点：チップ習慣

Q031

TRAVEL-1241

海外での通信 / 4択 / 標準

海外での通信に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
2. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
3. ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。
4. 通信手段は現地で必ず無料提供される。

答え・解説

正答：4. 通信手段は現地で必ず無料提供される。

解説：誤りは「通信手段は現地で必ず無料提供される。」。海外での通信では「ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。」が基本です。

要点：海外での通信

Q032

TRAVEL-1242

現地安全対策 / 4択 / 応用

次の事例で、現地安全対策の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 感染症情報は旅程作成に関係しない。
2. 海外では交通ルールを確認する必要がある。
3. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。
4. 治安情報は旅行者に伝えてはならない。

答え・解説

正答：3. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。

解説：現地安全対策では「治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。」が基本です。

要点：現地安全対策

Q033

TRAVEL-1243

海外ツアーの集合時刻 / 4択 / 基礎

海外ツアーの集合時刻に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 出発5分前集合が常に適切である。
2. 保安検査時間は考えなくてよい。
3. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
4. 集合時刻は旅行者がバラバラに決める。

答え・解説

正答：3. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

解説：海外ツアーの集合時刻では「国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。」が基本です。

要点：海外ツアーの集合時刻

Q034

TRAVEL-1244

現地ガイド / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地ガイドで正しい理解はどれか。

1. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
2. ガイドの言語は確認不要である。
3. ガイドは旅券を発給できる。
4. ガイドのサービス範囲は無制限である。

答え・解説

正答：1. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

解説：現地ガイドでは「ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。」が基本です。

要点：現地ガイド

Q035

TRAVEL-1245

海外旅行の書面確認 / 4択 / 標準

海外旅行の書面確認に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 書面は旅行者に渡さない。
2. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
3. 旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。
4. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

答え・解説

正答：1. 書面は旅行者に渡さない。

解説：誤りは「書面は旅行者に渡さない。」。海外旅行の書面確認では「旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。」が基本です。

要点：海外旅行の書面確認

Q036

TRAVEL-1246

時差計算 / 4択 / 応用

次の事例で、時差計算の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 世界中の時刻は日本と同じである。
2. 日付変更線は国内旅行だけに関係する。
3. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。
4. 航空券の時刻は常に日本時間で表示される。

答え・解説

正答：3. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。

解説：時差計算では「出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。」が基本です。

要点：時差計算

Q037

TRAVEL-1247

海外旅行の旅程作成 / 4択 / 基礎

海外旅行の旅程作成に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
2. 入国手続は旅程に影響しない。
3. 乗継時間は5分でも十分である。
4. 時差は考慮しなくてよい。

答え・解説

正答：1. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

解説：海外旅行の旅程作成では「時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。」が基本です。

要点：海外旅行の旅程作成

Q038

TRAVEL-1248

現地連絡先 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地連絡先で正しい理解はどれか。

1. 緊急連絡先は旅行者に知らせない。
2. ホテル名だけ分かれば十分である。
3. 現地連絡先は旅行後に調べればよい。
4. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

答え・解説

正答：4. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

解説：現地連絡先では「現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。」が基本です。

要点：現地連絡先

Q039

TRAVEL-1249

海外ホテル予約 / 4択 / 標準

海外ホテル予約に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。
2. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
3. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
4. 食事条件は確認不要である。

答え・解説

正答：4. 食事条件は確認不要である。

解説：誤りは「食事条件は確認不要である。」。海外ホテル予約では「宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。」が基本です。

要点：海外ホテル予約

Q040

TRAVEL-1250

現地交通手配 / 4択 / 応用

次の事例で、現地交通手配の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 利用条件は予約後も確認不要である。
2. 現地交通は旅券発給機関が手配する。
3. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。
4. 集合場所は当日まで知らせない。

答え・解説

正答：3. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。

解説：現地交通手配では「空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。」が基本です。

要点：現地交通手配

Q041

TRAVEL-1251

外貨と支払 / 4択 / 基礎

外貨と支払に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. どの国でも日本円だけで必ず支払える。
2. 外貨は税関で没収されるため持てない。
3. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
4. クレジットカードは旅券の代わりになる。

答え・解説

正答：3. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
解説：外貨と支払では「現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。」が基本です。

要点：外貨と支払

Q042

TRAVEL-1252

チップ習慣 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、チップ習慣で正しい理解はどれか。

1. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
2. チップは世界中で法律上禁止されている。
3. チップは航空券の税金である。
4. チップは旅行業登録料の一部である。

答え・解説

正答：1. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
解説：チップ習慣では「国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。」が基本です。

要点：チップ習慣

Q043

TRAVEL-1253

海外での通信 / 4択 / 標準

海外での通信に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
2. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
3. 通信手段は現地で必ず無料提供される。
4. ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。

答え・解説

正答：3. 通信手段は現地で必ず無料提供される。
解説：誤りは「通信手段は現地で必ず無料提供される。」。海外での通信では「ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。」が基本です。

要点：海外での通信

Q044

TRAVEL-1254

現地安全対策 / 4択 / 応用

次の事例で、現地安全対策の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。
2. 感染症情報は旅程作成に関係しない。
3. 治安情報は旅行者に伝えてはならない。
4. 海外では交通ルールを確認する必要がない。

答え・解説

正答：1. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。
解説：現地安全対策では「治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。」が基本です。

要点：現地安全対策

Q045

TRAVEL-1255

海外ツアーの集合時刻 / 4択 / 基礎

海外ツアーの集合時刻に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 集合時刻は旅行者がバラバラに決める。
2. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
3. 出発5分前集合が常に適切である。
4. 保安検査時間は考えなくてよい。

答え・解説

正答：2. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

解説：海外ツアーの集合時刻では「国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。」が基本です。

要点：海外ツアーの集合時刻

Q046

TRAVEL-1256

現地ガイド / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地ガイドで正しい理解はどれか。

1. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
2. ガイドのサービス範囲は無制限である。
3. ガイドの言語は確認不要である。
4. ガイドは旅券を発給できる。

答え・解説

正答：1. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

解説：現地ガイドでは「ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。」が基本です。

要点：現地ガイド

Q047

TRAVEL-1257

海外旅行の書面確認 / 4択 / 標準

海外旅行の書面確認に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
2. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
3. 書面は旅行者に渡さない。
4. 旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。

答え・解説

正答：3. 書面は旅行者に渡さない。

解説：誤りは「書面は旅行者に渡さない。」。海外旅行の書面確認では「旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。」が基本です。

要点：海外旅行の書面確認

Q048

TRAVEL-1258

時差計算 / 4択 / 応用

次の事例で、時差計算の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 世界中の時刻は日本と同じである。
2. 日付変更線は国内旅行だけに関係する。
3. 航空券の時刻は常に日本時間で表示される。
4. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。

答え・解説

正答：4. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。

解説：時差計算では「出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。」が基本です。

要点：時差計算

Q049

TRAVEL-1259

海外旅行の旅程作成 / 4択 / 基礎

海外旅行の旅程作成に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 入国手続は旅程に影響しない。
2. 乗継時間は5分でも十分である。
3. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
4. 時差は考慮しなくてよい。

答え・解説

正答：3. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

解説：海外旅行の旅程作成では「時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。」が基本です。

要点：海外旅行の旅程作成

Q050

TRAVEL-1260

現地連絡先 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地連絡先で正しい理解はどれか。（確認2）

1. 緊急連絡先は旅行者に知らせない。
2. ホテル名だけ分かれば十分である。
3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
4. 現地連絡先は旅行後に調べればよい。

答え・解説

正答：3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

解説：現地連絡先では「現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。」が基本です。

要点：現地連絡先

Q051

TRAVEL-1261

海外ホテル予約 / 4択 / 標準

海外ホテル予約に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
2. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
3. 宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。
4. 食事条件は確認不要である。

答え・解説

正答：4. 食事条件は確認不要である。

解説：誤りは「食事条件は確認不要である。」。海外ホテル予約では「宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。」が基本です。

要点：海外ホテル予約

Q052

TRAVEL-1262

現地交通手配 / 4択 / 応用

次の事例で、現地交通手配の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 集合場所は当日まで知らせない。
2. 現地交通は旅券発給機関が手配する。
3. 利用条件は予約後も確認不要である。
4. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。

答え・解説

正答：4. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。

解説：現地交通手配では「空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。」が基本です。

要点：現地交通手配

Q053

TRAVEL-1263

外貨と支払 / 4択 / 基礎

外貨と支払に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. どの国でも日本円だけで必ず支払える。
2. 外貨は税関で没収されるため持てない。
3. クレジットカードは旅券の代わりになる。
4. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。

答え・解説

正答：4. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。

解説：外貨と支払では「現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。」が基本です。

要点：外貨と支払

Q054

TRAVEL-1264

チップ習慣 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、チップ習慣で正しい理解はどれか。

1. チップは世界中で法律上禁止されている。
2. チップは旅行業登録料の一部である。
3. チップは航空券の税金である。
4. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

答え・解説

正答：4. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

解説：チップ習慣では「国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。」が基本です。

要点：チップ習慣

Q055

TRAVEL-1265

海外での通信 / 4択 / 標準

海外での通信に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。（確認2）

1. 通信手段は現地で必ず無料提供される。
2. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
3. ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。
4. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

答え・解説

正答：1. 通信手段は現地で必ず無料提供される。

解説：誤りは「通信手段は現地で必ず無料提供される。」。海外での通信では「ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。」が基本です。

要点：海外での通信

Q056

TRAVEL-1266

現地安全対策 / 4択 / 応用

次の事例で、現地安全対策の観点から最も適切な対応はどれか。（確認2）

1. 感染症情報は旅程作成に関係しない。
2. 治安情報は旅行者に伝えてはならない。
3. 海外では交通ルールを確認する必要がある。
4. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。

答え・解説

正答：4. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。

解説：現地安全対策では「治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。」が基本です。

要点：現地安全対策

Q057

TRAVEL-1267

海外ツアーの集合時刻 / 4択 / 基礎

海外ツアーの集合時刻に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 出発5分前集合が常に適切である。
2. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
3. 保安検査時間は考えなくてよい。
4. 集合時刻は旅行者がバラバラに決める。

答え・解説

正答：2. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

解説：海外ツアーの集合時刻では「国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。」が基本です。

要点：海外ツアーの集合時刻

Q058

TRAVEL-1268

現地ガイド / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地ガイドで正しい理解はどれか。

1. ガイドのサービス範囲は無制限である。
2. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
3. ガイドは旅券を発給できる。
4. ガイドの言語は確認不要である。

答え・解説

正答：2. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

解説：現地ガイドでは「ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。」が基本です。

要点：現地ガイド

Q059

TRAVEL-1269

海外旅行の書面確認 / 4択 / 標準

海外旅行の書面確認に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
2. 書面は旅行者に渡さない。
3. 旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。
4. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

答え・解説

正答：2. 書面は旅行者に渡さない。

解説：誤りは「書面は旅行者に渡さない。」。海外旅行の書面確認では「旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。」が基本です。

要点：海外旅行の書面確認

Q060

TRAVEL-1270

時差計算 / 4択 / 応用

次の事例で、時差計算の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 世界中の時刻は日本と同じである。
2. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。
3. 航空券の時刻は常に日本時間で表示される。
4. 日付変更線は国内旅行だけに関係する。

答え・解説

正答：2. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。

解説：時差計算では「出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。」が基本です。

要点：時差計算

Q061

TRAVEL-1271

海外旅行の旅程作成 / 4択 / 基礎

海外旅行の旅程作成に関する記述として、最も適切なものはどれか。
(確認2)

1. 時差は考慮しなくてよい。
2. 乗継時間は5分でも十分である。
3. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
4. 入国手続は旅程に影響しない。

答え・解説

正答：3. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

解説：海外旅行の旅程作成では「時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。」が基本です。

要点：海外旅行の旅程作成

Q062

TRAVEL-1272

現地連絡先 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地連絡先で正しい理解はどれか。

1. 現地連絡先は旅行後に調べればよい。
2. ホテル名だけ分かれば十分である。
3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
4. 緊急連絡先は旅行者に知らせない。

答え・解説

正答：3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

解説：現地連絡先では「現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。」が基本です。

要点：現地連絡先

Q063

TRAVEL-1273

海外ホテル予約 / 4択 / 標準

海外ホテル予約に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。
2. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
3. 食事条件は確認不要である。
4. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

答え・解説

正答：3. 食事条件は確認不要である。

解説：誤りは「食事条件は確認不要である。」。海外ホテル予約では「宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。」が基本です。

要点：海外ホテル予約

Q064

TRAVEL-1274

現地交通手配 / 4択 / 応用

次の事例で、現地交通手配の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 集合場所は当日まで知らせない。
2. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。
3. 現地交通は旅券発給機関が手配する。
4. 利用条件は予約後も確認不要である。

答え・解説

正答：2. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。

解説：現地交通手配では「空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。」が基本です。

要点：現地交通手配

Q065

TRAVEL-1275

外貨と支払 / 4択 / 基礎

外貨と支払に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
2. どの国でも日本円だけで必ず支払える。
3. 外貨は税関で没収されるため持てない。
4. クレジットカードは旅券の代わりになる。

答え・解説

正答：1. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。

解説：外貨と支払では「現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。」が基本です。

要点：外貨と支払

Q066

TRAVEL-1276

チップ習慣 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、チップ習慣で正しい理解はどれか。

1. チップは世界中で法律上禁止されている。
2. チップは旅行業登録料の一部である。
3. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
4. チップは航空券の税金である。

答え・解説

正答：3. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

解説：チップ習慣では「国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。」が基本です。

要点：チップ習慣

Q067

TRAVEL-1277

海外での通信 / 4択 / 標準

海外での通信に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
2. ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。
3. 通信手段は現地で必ず無料提供される。
4. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

答え・解説

正答：3. 通信手段は現地で必ず無料提供される。

解説：誤りは「通信手段は現地で必ず無料提供される。」。海外での通信では「ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。」が基本です。

要点：海外での通信

Q068

TRAVEL-1278

現地安全対策 / 4択 / 応用

次の事例で、現地安全対策の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 治安情報は旅行者に伝えてはならない。
2. 感染症情報は旅程作成に関係しない。
3. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。
4. 海外では交通ルールを確認する必要がある。

答え・解説

正答：3. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。

解説：現地安全対策では「治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。」が基本です。

要点：現地安全対策

Q069

TRAVEL-1279

海外ツアーの集合時刻 / 4択 / 基礎

海外ツアーの集合時刻に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 出発5分前集合が常に適切である。
2. 集合時刻は旅行者がバラバラに決める。
3. 保安検査時間は考えなくてよい。
4. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

答え・解説

正答：4. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

解説：海外ツアーの集合時刻では「国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。」が基本です。

要点：海外ツアーの集合時刻

Q070

TRAVEL-1280

現地ガイド / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地ガイドで正しい理解はどれか。

1. ガイドのサービス範囲は無制限である。
2. ガイドの言語は確認不要である。
3. ガイドは旅券を発給できる。
4. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

答え・解説

正答：4. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

解説：現地ガイドでは「ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。」が基本です。

要点：現地ガイド

Q071

TRAVEL-1281

海外旅行の書面確認 / 4択 / 標準

海外旅行の書面確認に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
2. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
3. 書面は旅行者に渡さない。
4. 旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。

答え・解説

正答：3. 書面は旅行者に渡さない。

解説：誤りは「書面は旅行者に渡さない。」。海外旅行の書面確認では「旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。」が基本です。

要点：海外旅行の書面確認

Q072

TRAVEL-1282

時差計算 / 4択 / 応用

次の事例で、時差計算の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 日付変更線は国内旅行だけに関係する。
2. 航空券の時刻は常に日本時間で表示される。
3. 世界中の時刻は日本と同じである。
4. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。

答え・解説

正答：4. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。

解説：時差計算では「出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。」が基本です。

要点：時差計算

Q073

TRAVEL-1283

海外旅行の旅程作成 / 4択 / 基礎

海外旅行の旅程作成に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
2. 乗継時間は5分でも十分である。
3. 時差は考慮しなくてよい。
4. 入国手続は旅程に影響しない。

答え・解説

正答：1. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

解説：海外旅行の旅程作成では「時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。」が基本です。

要点：海外旅行の旅程作成

Q074

TRAVEL-1284

現地連絡先 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地連絡先で正しい理解はどれか。

1. 現地連絡先は旅行後に調べればよい。
2. 緊急連絡先は旅行者に知らせない。
3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
4. ホテル名だけ分かれば十分である。

答え・解説

正答：3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

解説：現地連絡先では「現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。」が基本です。

要点：現地連絡先

Q075

TRAVEL-1285

海外ホテル予約 / 4択 / 標準

海外ホテル予約に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
2. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
3. 食事条件は確認不要である。
4. 宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。

答え・解説

正答：3. 食事条件は確認不要である。

解説：誤りは「食事条件は確認不要である。」。海外ホテル予約では「宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。」が基本です。

要点：海外ホテル予約

Q076

TRAVEL-1286

現地交通手配 / 4択 / 応用

次の事例で、現地交通手配の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。
2. 集合場所は当日まで知らせない。
3. 現地交通は旅券発給機関が手配する。
4. 利用条件は予約後も確認不要である。

答え・解説

正答：1. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。

解説：現地交通手配では「空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。」が基本です。

要点：現地交通手配

Q077

TRAVEL-1287

外貨と支払 / 4択 / 基礎

外貨と支払に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. どの国でも日本円だけで必ず支払える。
2. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
3. クレジットカードは旅券の代わりになる。
4. 外貨は税関で没収されるため持てない。

答え・解説

正答：2. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。

解説：外貨と支払では「現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。」が基本です。

要点：外貨と支払

Q078

TRAVEL-1288

チップ習慣 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、チップ習慣で正しい理解はどれか。

1. チップは世界中で法律上禁止されている。
2. チップは航空券の税金である。
3. チップは旅行業登録料の一部である。
4. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

答え・解説

正答：4. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

解説：チップ習慣では「国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。」が基本です。

要点：チップ習慣

Q079

TRAVEL-1289

海外での通信 / 4択 / 標準

海外での通信に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
2. 通信手段は現地で必ず無料提供される。
3. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
4. ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。

答え・解説

正答：2. 通信手段は現地で必ず無料提供される。

解説：誤りは「通信手段は現地で必ず無料提供される。」。海外での通信では「ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。」が基本です。

要点：海外での通信

Q080

TRAVEL-1290

現地安全対策 / 4択 / 応用

次の事例で、現地安全対策の観点から最も適切な対応はどれか。（確認2）

1. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。
2. 感染症情報は旅程作成に関係しない。
3. 治安情報は旅行者に伝えてはならない。
4. 海外では交通ルールを確認する必要がある。

答え・解説

正答：1. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。

解説：現地安全対策では「治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。」が基本です。

要点：現地安全対策

Q081

TRAVEL-1291

海外ツアーの集合時刻 / 4択 / 基礎

海外ツアーの集合時刻に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 出発5分前集合が常に適切である。
2. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
3. 集合時刻は旅行者がバラバラに決める。
4. 保安検査時間は考えなくてよい。

答え・解説

正答：2. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

解説：海外ツアーの集合時刻では「国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。」が基本です。

要点：海外ツアーの集合時刻

Q082

TRAVEL-1292

現地ガイド / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地ガイドで正しい理解はどれか。

1. ガイドのサービス範囲は無制限である。
2. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
3. ガイドの言語は確認不要である。
4. ガイドは旅券を発給できる。

答え・解説

正答：2. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

解説：現地ガイドでは「ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。」が基本です。

要点：現地ガイド

Q083

TRAVEL-1293

海外旅行の書面確認 / 4択 / 標準

海外旅行の書面確認に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
2. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
3. 旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。
4. 書面は旅行者に渡さない。

答え・解説

正答：4. 書面は旅行者に渡さない。

解説：誤りは「書面は旅行者に渡さない。」。海外旅行の書面確認では「旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。」が基本です。

要点：海外旅行の書面確認

Q084

TRAVEL-1294

時差計算 / 4択 / 応用

次の事例で、時差計算の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。
2. 日付変更線は国内旅行だけに関係する。
3. 世界中の時刻は日本と同じである。
4. 航空券の時刻は常に日本時間で表示される。

答え・解説

正答：1. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。

解説：時差計算では「出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。」が基本です。

要点：時差計算

Q085

TRAVEL-1295

海外旅行の旅程作成 / 4択 / 基礎

海外旅行の旅程作成に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 乗継時間は5分でも十分である。
2. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
3. 時差は考慮しなくてよい。
4. 入国手続は旅程に影響しない。

答え・解説

正答：2. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

解説：海外旅行の旅程作成では「時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。」が基本です。

要点：海外旅行の旅程作成

Q086

TRAVEL-1296

現地連絡先 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地連絡先で正しい理解はどれか。

1. 現地連絡先は旅行後に調べればよい。
2. 緊急連絡先は旅行者に知らせない。
3. ホテル名だけ分かれば十分である。
4. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

答え・解説

正答：4. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
解説：現地連絡先では「現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。」が基本です。

要点：現地連絡先

Q087

TRAVEL-1297

海外ホテル予約 / 4択 / 標準

海外ホテル予約に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。（確認2）

1. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
2. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
3. 食事条件は確認不要である。
4. 宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。

答え・解説

正答：3. 食事条件は確認不要である。

解説：誤りは「食事条件は確認不要である。」。海外ホテル予約では「宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。」が基本です。

要点：海外ホテル予約

Q088

TRAVEL-1298

現地交通手配 / 4択 / 応用

次の事例で、現地交通手配の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。
2. 集合場所は当日まで知らせない。
3. 利用条件は予約後も確認不要である。
4. 現地交通は旅券発給機関が手配する。

答え・解説

正答：1. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。

解説：現地交通手配では「空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。」が基本です。

要点：現地交通手配

Q089

TRAVEL-1299

外貨と支払 / 4択 / 基礎

外貨と支払に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
2. 外貨は税関で没収されるため持てない。
3. クレジットカードは旅券の代わりになる。
4. どの国でも日本円だけで必ず支払える。

答え・解説

正答：1. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。

解説：外貨と支払では「現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。」が基本です。

要点：外貨と支払

Q090

TRAVEL-1300

チップ習慣 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、チップ習慣で正しい理解はどれか。

1. チップは世界中で法律上禁止されている。
2. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
3. チップは旅行業登録料の一部である。
4. チップは航空券の税金である。

答え・解説

正答：2. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

解説：チップ習慣では「国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。」が基本です。

要点：チップ習慣

Q091

TRAVEL-1301

海外での通信 / 4択 / 標準

海外での通信に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 通信手段は現地で必ず無料提供される。
2. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
3. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
4. ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。

答え・解説

正答：1. 通信手段は現地で必ず無料提供される。

解説：誤りは「通信手段は現地で必ず無料提供される。」。海外での通信では「ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。」が基本です。

要点：海外での通信

Q092

TRAVEL-1302

現地安全対策 / 4択 / 応用

次の事例で、現地安全対策の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 感染症情報は旅程作成に関係しない。
2. 海外では交通ルールを確認する必要がある。
3. 治安情報は旅行者に伝えてはならない。
4. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。

答え・解説

正答：4. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。

解説：現地安全対策では「治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。」が基本です。

要点：現地安全対策

Q093

TRAVEL-1303

海外ツアーの集合時刻 / 4択 / 基礎

海外ツアーの集合時刻に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 保安検査時間は考えなくてよい。
2. 出発5分前集合が常に適切である。
3. 集合時刻は旅行者がバラバラに決める。
4. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

答え・解説

正答：4. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

解説：海外ツアーの集合時刻では「国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。」が基本です。

要点：海外ツアーの集合時刻

Q094

TRAVEL-1304

現地ガイド / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地ガイドで正しい理解はどれか。

1. ガイドの言語は確認不要である。
2. ガイドのサービス範囲は無制限である。
3. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
4. ガイドは旅券を発給できる。

答え・解説

正答：3. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

解説：現地ガイドでは「ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。」が基本です。

要点：現地ガイド

Q095

TRAVEL-1305

海外旅行の書面確認 / 4択 / 標準

海外旅行の書面確認に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。
2. 書面は旅行者に渡さない。
3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
4. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

答え・解説

正答：2. 書面は旅行者に渡さない。

解説：誤りは「書面は旅行者に渡さない。」。海外旅行の書面確認では「旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。」が基本です。

要点：海外旅行の書面確認

Q096

TRAVEL-1306

時差計算 / 4択 / 応用

次の事例で、時差計算の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 世界中の時刻は日本と同じである。
2. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。
3. 日付変更線は国内旅行だけに関係する。
4. 航空券の時刻は常に日本時間で表示される。

答え・解説

正答：2. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。

解説：時差計算では「出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。」が基本です。

要点：時差計算

Q097

TRAVEL-1307

海外旅行の旅程作成 / 4択 / 基礎

海外旅行の旅程作成に関する記述として、最も適切なものはどれか。（確認2）

1. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
2. 乗継時間は5分でも十分である。
3. 時差は考慮しなくてよい。
4. 入国手続は旅程に影響しない。

答え・解説

正答：1. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

解説：海外旅行の旅程作成では「時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。」が基本です。

要点：海外旅行の旅程作成

Q098

TRAVEL-1308

現地連絡先 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地連絡先で正しい理解はどれか。

1. ホテル名だけ分かれば十分である。
2. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
3. 緊急連絡先は旅行者に知らせない。
4. 現地連絡先は旅行後に調べればよい。

答え・解説

正答：2. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

解説：現地連絡先では「現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。」が基本です。

要点：現地連絡先

Q099

TRAVEL-1309

海外ホテル予約 / 4択 / 標準

海外ホテル予約に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。（確認2）

1. 宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。
2. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
3. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
4. 食事条件は確認不要である。

答え・解説

正答：4. 食事条件は確認不要である。

解説：誤りは「食事条件は確認不要である。」。海外ホテル予約では「宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。」が基本です。

要点：海外ホテル予約

Q100

TRAVEL-1310

現地交通手配 / 4択 / 応用

次の事例で、現地交通手配の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 利用条件は予約後も確認不要である。
2. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。
3. 集合場所は当日まで知らせない。
4. 現地交通は旅券発給機関が手配する。

答え・解説

正答：2. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。

解説：現地交通手配では「空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。」が基本です。

要点：現地交通手配

Q101

TRAVEL-1311

外貨と支払 / 4択 / 基礎

外貨と支払に関する記述として、最も適切なものはどれか。（確認2）

1. 外貨は税関で没収されるため持てない。
2. クレジットカードは旅券の代わりになる。
3. どの国でも日本円だけで必ず支払える。
4. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。

答え・解説

正答：4. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
解説：外貨と支払では「現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。」が基本です。

要点：外貨と支払

Q102

TRAVEL-1312

チップ習慣 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、チップ習慣で正しい理解はどれか。

1. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
2. チップは航空券の税金である。
3. チップは旅行業登録料の一部である。
4. チップは世界中で法律上禁止されている。

答え・解説

正答：1. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
解説：チップ習慣では「国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。」が基本です。

要点：チップ習慣

Q103

TRAVEL-1313

海外での通信 / 4択 / 標準

海外での通信に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。
2. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
3. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
4. 通信手段は現地で必ず無料提供される。

答え・解説

正答：4. 通信手段は現地で必ず無料提供される。
解説：誤りは「通信手段は現地で必ず無料提供される。」。海外での通信では「ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。」が基本です。

要点：海外での通信

Q104

TRAVEL-1314

現地安全対策 / 4択 / 応用

次の事例で、現地安全対策の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 海外では交通ルールを確認する必要がある。
2. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。
3. 治安情報は旅行者に伝えてはならない。
4. 感染症情報は旅程作成に関係しない。

答え・解説

正答：2. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。
解説：現地安全対策では「治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。」が基本です。

要点：現地安全対策

Q105

TRAVEL-1315

海外ツアーの集合時刻 / 4択 / 基礎

海外ツアーの集合時刻に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 集合時刻は旅行者がバラバラに決める。
2. 保安検査時間は考えなくてよい。
3. 出発5分前集合が常に適切である。
4. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

答え・解説

正答：4. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

解説：海外ツアーの集合時刻では「国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。」が基本です。

要点：海外ツアーの集合時刻

Q106

TRAVEL-1316

現地ガイド / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地ガイドで正しい理解はどれか。

1. ガイドは旅券を発給できる。
2. ガイドの言語は確認不要である。
3. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
4. ガイドのサービス範囲は無制限である。

答え・解説

正答：3. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

解説：現地ガイドでは「ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。」が基本です。

要点：現地ガイド

Q107

TRAVEL-1317

海外旅行の書面確認 / 4択 / 標準

海外旅行の書面確認に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
2. 書面は旅行者に渡さない。
3. 旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。
4. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

答え・解説

正答：2. 書面は旅行者に渡さない。

解説：誤りは「書面は旅行者に渡さない。」。海外旅行の書面確認では「旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。」が基本です。

要点：海外旅行の書面確認

Q108

TRAVEL-1318

時差計算 / 4択 / 応用

次の事例で、時差計算の観点から最も適切な対応はどれか。（確認2）

1. 世界中の時刻は日本と同じである。
2. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。
3. 日付変更線は国内旅行だけに関係する。
4. 航空券の時刻は常に日本時間で表示される。

答え・解説

正答：2. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。

解説：時差計算では「出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。」が基本です。

要点：時差計算

Q109

TRAVEL-1319

海外旅行の旅程作成 / 4択 / 基礎

海外旅行の旅程作成に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 入国手続は旅程に影響しない。
2. 乗継時間は5分でも十分である。
3. 時差は考慮しなくてよい。
4. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

答え・解説

正答：4. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

解説：海外旅行の旅程作成では「時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。」が基本です。

要点：海外旅行の旅程作成

Q110

TRAVEL-1320

現地連絡先 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地連絡先で正しい理解はどれか。

1. 現地連絡先は旅行後に調べればよい。
2. ホテル名だけ分かれば十分である。
3. 緊急連絡先は旅行者に知らせない。
4. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

答え・解説

正答：4. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

解説：現地連絡先では「現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。」が基本です。

要点：現地連絡先

Q111

TRAVEL-1321

海外ホテル予約 / 4択 / 標準

海外ホテル予約に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
2. 宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。
3. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
4. 食事条件は確認不要である。

答え・解説

正答：4. 食事条件は確認不要である。

解説：誤りは「食事条件は確認不要である。」。海外ホテル予約では「宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。」が基本です。

要点：海外ホテル予約

Q112

TRAVEL-1322

現地交通手配 / 4択 / 応用

次の事例で、現地交通手配の観点から最も適切な対応はどれか。（確認2）

1. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。
2. 現地交通は旅券発給機関が手配する。
3. 利用条件は予約後も確認不要である。
4. 集合場所は当日まで知らせない。

答え・解説

正答：1. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。

解説：現地交通手配では「空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。」が基本です。

要点：現地交通手配

Q113

TRAVEL-1323

外貨と支払 / 4択 / 基礎

外貨と支払に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 外貨は税関で没収されるため持てない。
2. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
3. どの国でも日本円だけで必ず支払える。
4. クレジットカードは旅券の代わりになる。

答え・解説

正答：2. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。

解説：外貨と支払では「現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。」が基本です。

要点：外貨と支払

Q114

TRAVEL-1324

チップ習慣 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、チップ習慣で正しい理解はどれか。（確認2）

1. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
2. チップは航空券の税金である。
3. チップは旅行業登録料の一部である。
4. チップは世界中で法律上禁止されている。

答え・解説

正答：1. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

解説：チップ習慣では「国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。」が基本です。

要点：チップ習慣

Q115

TRAVEL-1325

海外での通信 / 4択 / 標準

海外での通信に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 通信手段は現地で必ず無料提供される。
2. ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。
3. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
4. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

答え・解説

正答：1. 通信手段は現地で必ず無料提供される。

解説：誤りは「通信手段は現地で必ず無料提供される。」。海外での通信では「ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。」が基本です。

要点：海外での通信

Q116

TRAVEL-1326

現地安全対策 / 4択 / 応用

次の事例で、現地安全対策の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 治安情報は旅行者に伝えてはならない。
2. 海外では交通ルールを確認する必要がない。
3. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。
4. 感染症情報は旅程作成に関係しない。

答え・解説

正答：3. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。

解説：現地安全対策では「治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。」が基本です。

要点：現地安全対策

Q117

TRAVEL-1327

海外ツアーの集合時刻 / 4択 / 基礎

海外ツアーの集合時刻に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 保安検査時間は考えなくてよい。
2. 集合時刻は旅行者がバラバラに決める。
3. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
4. 出発5分前集合が常に適切である。

答え・解説

正答：3. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

解説：海外ツアーの集合時刻では「国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。」が基本です。

要点：海外ツアーの集合時刻

Q118

TRAVEL-1328

現地ガイド / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地ガイドで正しい理解はどれか。

1. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
2. ガイドの言語は確認不要である。
3. ガイドのサービス範囲は無制限である。
4. ガイドは旅券を発給できる。

答え・解説

正答：1. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

解説：現地ガイドでは「ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。」が基本です。

要点：現地ガイド

Q119

TRAVEL-1329

海外旅行の書面確認 / 4択 / 標準

海外旅行の書面確認に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。（確認2）

1. 旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。
2. 書面は旅行者に渡さない。
3. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
4. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

答え・解説

正答：2. 書面は旅行者に渡さない。

解説：誤りは「書面は旅行者に渡さない。」。海外旅行の書面確認では「旅程表、航空券控え、ホテルパウチャー、保険証券等を旅行者が確認できるようにする。」が基本です。

要点：海外旅行の書面確認

Q120

TRAVEL-1330

時差計算 / 4択 / 応用

次の事例で、時差計算の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 日付変更線は国内旅行だけに関係する。
2. 世界中の時刻は日本と同じである。
3. 航空券の時刻は常に日本時間で表示される。
4. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。

答え・解説

正答：4. 出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。

解説：時差計算では「出発地・到着地の現地時刻と日付変更線を考慮する。」が基本です。

要点：時差計算

Q121

TRAVEL-1331

海外旅行の旅程作成 / 4択 / 基礎

海外旅行の旅程作成に関する記述として、最も適切なものはどれか。
(確認2)

1. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
2. 入国手続は旅程に影響しない。
3. 乗継時間は5分でも十分である。
4. 時差は考慮しなくてよい。

答え・解説

正答：1. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。

解説：海外旅行の旅程作成では「時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。」が基本です。

要点：海外旅行の旅程作成

Q122

TRAVEL-1332

現地連絡先 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地連絡先で正しい理解はどれか。
(確認2)

1. 緊急連絡先は旅行者に知らせない。
2. ホテル名だけ分かれば十分である。
3. 現地連絡先は旅行後に調べればよい。
4. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

答え・解説

正答：4. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

解説：現地連絡先では「現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。」が基本です。

要点：現地連絡先

Q123

TRAVEL-1333

海外ホテル予約 / 4択 / 標準

海外ホテル予約に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
(確認3)

1. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
2. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
3. 食事条件は確認不要である。
4. 宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。

答え・解説

正答：3. 食事条件は確認不要である。

解説：誤りは「食事条件は確認不要である。」。海外ホテル予約では「宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。」が基本です。

要点：海外ホテル予約

Q124

TRAVEL-1334

現地交通手配 / 4択 / 応用

次の事例で、現地交通手配の観点から最も適切な対応はどれか。(確認2)

1. 利用条件は予約後も確認不要である。
2. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。
3. 現地交通は旅券発給機関が手配する。
4. 集合場所は当日まで知らせない。

答え・解説

正答：2. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。

解説：現地交通手配では「空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。」が基本です。

要点：現地交通手配

Q125

TRAVEL-1335

外貨と支払 / 4択 / 基礎

外貨と支払に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 外貨は税関で没収されるため持てない。
2. どの国でも日本円だけで必ず支払える。
3. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
4. クレジットカードは旅券の代わりになる。

答え・解説

正答：3. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。

解説：外貨と支払では「現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。」が基本です。

要点：外貨と支払

Q126

TRAVEL-1336

チップ習慣 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、チップ習慣で正しい理解はどれか。（確認2）

1. チップは世界中で法律上禁止されている。
2. チップは旅行業登録料の一部である。
3. チップは航空券の税金である。
4. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

答え・解説

正答：4. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

解説：チップ習慣では「国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。」が基本です。

要点：チップ習慣

Q127

TRAVEL-1337

海外での通信 / 4択 / 標準

海外での通信に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
2. 通信手段は現地で必ず無料提供される。
3. ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。
4. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

答え・解説

正答：2. 通信手段は現地で必ず無料提供される。

解説：誤りは「通信手段は現地で必ず無料提供される。」。海外での通信では「ローミング、eSIM、Wi-Fi、緊急連絡手段を事前に確認する。」が基本です。

要点：海外での通信

Q128

TRAVEL-1338

現地安全対策 / 4択 / 応用

次の事例で、現地安全対策の観点から最も適切な対応はどれか。（確認2）

1. 治安情報は旅行者に伝えてはならない。
2. 海外では交通ルールを確認する必要がある。
3. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。
4. 感染症情報は旅程作成に関係しない。

答え・解説

正答：3. 治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。

解説：現地安全対策では「治安、交通事情、感染症、自然災害、デモ情報を確認する。」が基本です。

要点：現地安全対策

Q129

TRAVEL-1339

海外ツアーの集合時刻 / 4択 / 基礎

海外ツアーの集合時刻に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。
2. 出発5分前集合が常に適切である。
3. 保安検査時間は考えなくてよい。
4. 集合時刻は旅行者がバラバラに決める。

答え・解説

正答：1. 国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。

解説：海外ツアーの集合時刻では「国際線では搭乗手続や保安検査を考慮し、余裕を持った集合時刻を設定する。」が基本です。

要点：海外ツアーの集合時刻

Q130

TRAVEL-1340

現地ガイド / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地ガイドで正しい理解はどれか。（確認2）

1. ガイドのサービス範囲は無制限である。
2. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。
3. ガイドは旅券を発給できる。
4. ガイドの言語は確認不要である。

答え・解説

正答：2. ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。

解説：現地ガイドでは「ガイドの対応言語、集合場所、サービス範囲、緊急時対応を確認する。」が基本です。

要点：現地ガイド